



新たに作成した
飯南米統一ロゴ

飯南町エコロジー米生産推進協議会は、飯南米を積極的にPRしています。今年3月には、飯南米の認知度やブランド力の向上を目指し、飯南米の統一ロゴを作成しました。店頭で販売される町産米のパッケージに表示してもらい、良質米の証にしています。

8月5日(金)には、マツダスタジアム(広島市)で開催されたイベント「わがまち魅力発信隊」に参加し、飯南米の魅力や、産地である本町の魅力を3万人の来場者にPRしました。

飯南米のPRに力を入れています



飯南町のSNSへの登録やアンケートへの回答で、飯南米やミニタオルを配布



試合を観戦中の来場者にも、飯南米をPR

雲南圏域可燃ごみ 広域処理化 基本合意書締結式

7月12日(火)



3市町で安定的な可燃ごみ処理や効率的な運営を目指します

雲南市役所を会場に、本町と雲南市、奥出雲町の間で、新たな可燃ごみ処理施設の整備に向け、基本合意書を締結しました。

各市町で運用する施設は老朽化が進み、新たな施設整備が喫緊の課題となっており、環境への影響や財政負担などを検証してきました。

この度の基本合意により、今後は3市町で広域処理体制を構築し、2032年の新施設稼働を目指し、整備を進めていきます。

飯南町での暮らしを 伝える本の記事を執筆



事前に考えてきた執筆したい、テーマやネタを話し合いました

人材育成の連続講座「共創デザインスタジオ『ヒトカラヒットカラー』(第5期)を開催しました。今回の連続講座(全3回)は、「ブランドメッセージプロジェクト」と連動。本町での暮らしや生き方を伝える本の記事を執筆するため、取材の仕方や記事の書き方を学びます。

完成した本は、9月に発表するブランドメッセージを広く周知し、まちに関心を持つ人を増やすため、全国の書店やアマゾン、飯南町内などで販売予定です。

令和4年度産地交付金の助成内容

産地交付金は、町地域農業再生協議会が策定した「水田収益力強化ビジョン」に基づき、水田で一定面積以上の対象作物を生産・販売した場合に、面積に応じて交付金が交付される制度です。地域が戦略作物として設定する作物の振興を支援する目的で交付されます。

本年産の対象作物に対する助成上限単価・下限面積・要件は、次の表のとおりです。

■問合せ
産業振興課 ☎76-2214

※水田における対象作物の作付けが交付金の対象(畑での作付けは対象外)
※算出した交付金総額が国からの配分額を超えた場合は、助成単価を一律減額調整

	対象作物	助成上限単価	下限面積	対象とする要件			
集団化助成	大豆	25,000円/10a	1ha	生産、販売(基幹の2作業以上を受託し、販売権を有する作業受委託契約に基づく作付面積を含む)			
	そば	15,000円/10a					
	麦	10,000円/10a		生産、販売			
	WCS用稲	5,000円/10a					
	加工用米、米粉用米	10,000円/10a					
地域振興作物助成	飼料用米	15,000円/10a	5a	複数年契約(3年以上)の生産、販売			
	やまといも、さつまいも、しょうが	10,000円/10a					
	とうがらし	15,000円/10a		生産、販売			
	トマト、メロン、パプリカ	10,000円/10a					
	加工用青刈り稲	35,000円/10a		10a	しめ縄用の原料として生産、販売(自家利用含む)		
	そば、なたね	20,000円/10a (二毛作:15,000円/10a)				1a	生産、販売
	飼料用米、米粉用米 (令和2、3年契約の継続するもの)	6,000円/10a					
飼料作物、WCS用稲 (耕畜連携助成)	13,000円/10a	-	水田放牧、資源循環に取り組んだ場合				

まちを元気に！地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、下来島川尻地区を担当する石橋篤さんの活動報告です。



れも分かってきましたが、迷惑を掛けることもあると思います。しかし、失敗してもチャレンジをしようと思っています。

将来は農業を続けていきたいので、もっと勉強をしようと思っています。今後、畜産の仕事も考えていきたいです。

これからも頑張りますので、よろしくお願ひします。

川尻地区の地域おこし協力隊の石橋篤です。協力隊2年目になります。農業は初心者でしたが、地域の皆さんに聞きながら作業をしています。

4月から10月は、サツマイモの定植や収穫、田植えや稲刈りなどを行っています。11月から3月は、山から薪の木を運搬車で搬出し、松江市や鳥取県に運搬しています。

大雪が降れば、山仕事ができないので、頼原のなつかしの森(株)で、サツマイモの出荷の手伝いをしています。サツマイモを箱に詰める作業は初めてで、選別をしていると、傷や腐れ(黒斑病)に気を付けるだけでなく、傷つけずに収穫をしないといけないので大変です。

今年も暑い日が続き、毎日汗を流しながら、畑周りの草刈りに追われています。昨年は、鳥獣被害にあつて、イノシシに畑を荒らされたので、今年は柵が壊れていないかを見回り、サツマイモが多く収穫できるように管理していきたいと思っています。着任して1年が経過し、仕事の流



サツマイモ畑の草刈り。汗を流して頑張っています



サツマイモの苗の定植。しっかりと収穫まで管理します